

きみはまだ

建設
コンサル
タント

Tohoku
development
consultant

を知らない

株式会社東北開発コンサルタント

インフラの上流から下流まで すべてに関われるただ1つの仕事

私たち東北開発コンサルタントは、東北電力グループの一員として、

電力インフラを中心とする建設コンサルティングを手がけている会社です。

社会資本の整備というスケールの大きな仕事と向き合う日々にはやりがいを感じています。

ただ、ちょっと残念なのは、

どうも世の中に建設コンサルタントという仕事の魅力が十分に伝わっていないようなのです。

ご存じでしょうか？

発電所、ダム、道路といったインフラをつくるときに

私たちのような建設コンサルタントは欠かせない存在です。

計画立案、調査・測量、設計、施工監理、さらには完成後の維持管理まで、

つまり多くのプロジェクトの上流から下流まで一貫して関わるができるただ1つの仕事、

それが建設コンサルタントなのです。

建設会社であれば施工、建築事務所であれば設計が主な業務となります。

しかし、建設コンサルタントはインフラづくりのすべてに携わることができます。

その喜びはどこか子育ての喜びに似ていると言ったら言い過ぎでしょうか。

誕生に立ち合い、手塩にかけながら育て、立派に社会で活躍できるようにして送り出す。

もちろん、その後も愛情をもって見守り続ける。

建設コンサルタントとはまさにそんな仕事です。

創業から半世紀を過ぎ、地図に残るような仕事も数多く手がけました。

それは現在も進行形です。

そんな今、あらためて思うのは、やっぱり建設コンサルタントは面白い。

自分たちのアイデアが形になり社会に貢献できる、ものづくりの醍醐味を味わえる仕事だということです。

土木系・建築系学生のみなさん、

建設コンサルタントという最高に面白い仕事をぜひいっしょにやりませんか。

私たちが大好きな、

そしてきっとみなさんも大好きなこの東北の地で。



建設コンサルタントとして働く 東北開発コンサルタントで働く

なぜその仕事をするのか。なぜその会社で働くのか。
それは職業人生における大切な道標です。
私たちが建設コンサルタントとして働く理由、
そして東北開発コンサルタントで働く理由はここにあります。

01 社会に役立っているという実感

建設コンサルタントの仕事はインフラが中心です。私たちも電力関連のほか、道路や河川施設など幅広く手がけています。そうした社会資本整備のど真ん中にいることは、働く者にとっての誇りであり、大きな喜びです。

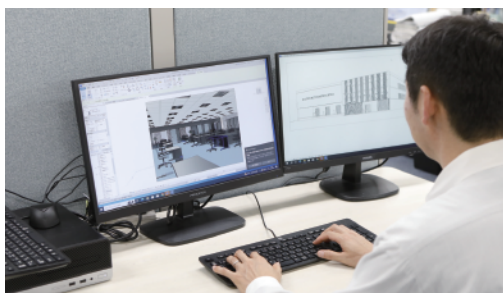


02 仕事のスケールが大きく、息が長い

例えば発電所の新增設といったスケールの大きな仕事に携わることができます。しかも 20 代で設計した建造物を 50 代になってふたたび改修するなど、インフラならではの関わり方も可能です。1つの仕事に生涯をかけて向き合えます。

03 専門技術を身につけられる環境

東北開発コンサルタントには半世紀を超える技術と経験の蓄積があります。加えて、最近は設計に BIM/CIM を活用するなど DX の導入にも積極的です。高度な専門スキルを持った人材が多く、互いに切磋琢磨できる環境があります。



04 技術者として着実にステップアップ

私たちの得意分野である電力に加え、最近は官公庁のインフラ案件も増えてきています。多様な仕事に携わることができ、また、若手にも積極的に任せられる風土があり、技術者として着実に実力をつけることができます。

05 東北電力グループの安定感と安心感

東北を拠点とする電力系建設コンサルタントとしてオンリーワンの存在です。経営基盤が安定していることで安心して働くことができ、長期的なキャリアが描けます。その事実は定着率の高さにも顕著です（過去3年の定着率 100%）。



06 転勤がなく、地元ですずっと働ける

仙台本社での勤務が基本となります。転勤がほとんどありません。「愛着のある地元で暮らせる」「安心して子育てができる」といった社員の声も多く、ライフプランの立てやすさも当社で働く大きな理由となっています。

07 ちょうどよい規模感、人の温かさ

東北開発コンサルタントの社員数は約120名。多くも少なくもない、ちょうどいい規模感だと考えています。部門の垣根をこえて仕事をする機会も多く、自然に横の連携ができます。それが温かみのある風土にもつながっているのかもしれない。



08 ワークライフバランスの実現

充実した仕事は充実したオフタイムからはじまると私たちは考えます。ノー残業デー、有給休暇、育児休暇の取得の呼びかけ、テレワークや時差出勤を導入…ワークライフバランスの実現のために、会社をあげてさまざまな取り組みをおこなっています。



土木設計と建築設計、2つの活躍フィールド

建設コンサルタント企業は通常、土木設計が主体となることが一般的です。しかし、東北開発コンサルタントの場合は調査・測量部門、建築設計部門も有しているため、土木系と建築系の両方の技術者が活躍でき、ワンストップで包括的な提案をすることができます。

土木設計部は建造物の基礎部分や土木工事などを中心に、建築設計部は建物や内部の設備などを中心に設計をおこなっています。それぞれ専門領域を持ちながらも、知識と経験をクロスオーバーさせながらプロジェクトを遂行していくため、広い視野を持った技術者になることができます。

土木設計部



土木設計は3つのグループに分かれています。
設計Ⅰグループは主に水力発電所関連業務、設計Ⅱグループは主に送電・変電関連業務、官公庁業務、設計Ⅲグループは主に火力・原子力・再エネ関連業務を手がけています。

！例えばこんな仕事をしています！



風力発電所の適地選定、
風況解析



水力発電所新設のための
概略設計



河川護岸の復旧設計



一般道路の計画設計

！うちの土木設計、ここが面白い！

- ✓ 社会貢献をダイレクトに感じられる
- ✓ 電力土木という専門性を高められる

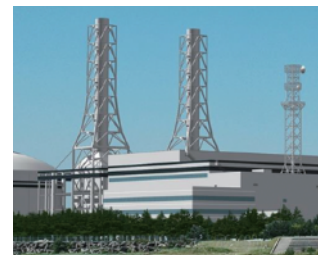
- ✓ 仮説を立て、それがハマったときは快感
- ✓ 難しい設計は難解なパズルを解く感覚！

建築設計部

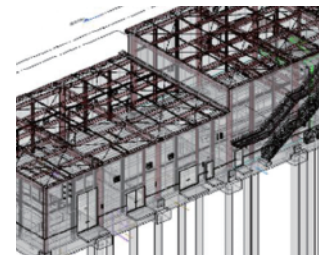


建築設計部は意匠、構造、設備の3グループに分かれています。
電力関連施設などを中心に、建物の機能的なデザイン、耐震・免震等の構造設計、省エネに配慮した設備設計など幅広い業務をおこなっています。

！例えばこんな仕事をしています！



火力発電所の本館並びに
関連施設の設計



BIMによる設計



建物の耐震調査診断
と補強提案



ZEB実現のための
設備プランの提案

！うちの建築設計、ここが面白い！

- ✓ BIMなどの最新技術を駆使できる
- ✓ 見た目より中身で勝負できる仕事！

- ✓ 建築全般の知識と技術が身につく
- ✓ 自分の想いを形にできる

どちらもデスクワークが中心です

当社の設計部門は土木、建築のいずれも内勤業務が中心です。
現場への出張はあまりありませんが、その分、出かけたときは地元のグルメを思いっきり楽しめます（社長も推奨！）。
土日はしっかり休むことができ、子育てや介護など、どのライフステージにおいても働きやすい職場です。

だからトウカアイコンを選びました！



仕事もプライベートも両方充実させたい！



土木設計部 設計IIグループ
2023 年入社
櫻井綾

若手にもどんどん任せてくれる
きっと大手だとうこうはいかない



じつは建設コンサルタントは就活時に考えていませんでした。研究室の仲間もそうだったのですが、なんとなくゼネコンかなと。ただ、リクルーターの方から説明を聞いたことをきっかけに興味を持ちました。東北開発コンサルタントに決めたのは転勤がなく、電力系で安定しているから。あとはプライベートを充実させられる点も重視しました。忙しすぎて休みの日は家で寝てるだけじゃ人生もったいないので。ここなら大丈夫かなと思って、実際、今は休日に趣味の草野球とキャンプを楽しんでいます。

もちろん仕事もがんばってます。先輩はベテランの方が多いですね。ちょうど私の父親世代で、みなさん冷静沈着、ていねいに教えてくださいます。設計は数値の正確性がとても重要で、1枚の図面にも数値が膨大にある。当たり前ですがそれを緻密に1つ1つチェックしなくてはなりません。私はちょっと雑なところがあるので、そういう基本を大事にする先輩の姿を見ると背筋が伸びるし、見習わないといけないなと思います。

土木設計は奥深い世界です。まだまだわからないことばかり。幸い先輩方に恵まれているので、とにかく質問してメモする毎日です。ただ、こんな駆け出しの自分でも意見を出せば聞いてもらえるし、仕事を任せてもらえる。だからバリバリ働いて早く技術を身につけたい人にはぴったりの環境じゃないでしょうか。きっと大手だとうこうはいかないと思います。会社としても技術資格の取得を積極的に応援してくれていて、合格祝い金の増額などでやる気を後押ししてくれます。とにかくしっかり経験を積んでステップアップしていきたいです。



だからトウカアイコンを選びました！



結婚・出産してもずっと働きたい！



建築設計部 意匠グループ
2022 年入社
大貫彩

第一印象はお堅い会社、
でも自分の選択は正しかったと思う



建築専攻なので就活の際はハウスメーカーや建築事務所を最初に見ていました。ただ、やっぱり長く働ける職場がいいなと考え直して見つけたのがここです。正直、第一印象はお堅い会社というイメージでした。建築専攻だとしやれで派手な雰囲気になれる学生も多いのですが、建設コンサルの場合は扱っているのがインフラ関連なので仕事柄そういうものだろうと思ったし、合うか合わないかは実際にやってみないとわからない。そう思って入社を決めました。

今は3年目で、仕事が面白くなってきたところです。東北開発コンサルタントの場合、建築設計部に意匠、構造、設備の3グループがあります。仕事が社内ですべて完了できることは働く私たちにとってもメリットが大きいと感じていて、意匠を考えるとこの設備が本当につけられるのか、構造は大丈夫なのかをパッと聞ける。知識と経験の幅を広げやすい環境です。あと、設計だから机に向かっていればOKというわけではなく、やっぱりコミュニケーションが重要だなと感じています。クライアントと電話やメールでマメに連絡をとったり、なぜその設計にしたのかを説明できる能力をつけたいと仕事がスムーズに運びません。そこはもっと磨いていきたい部分ですね。

学生時代の友人はたいいてい建築の仕事をしているのですが、話を聞くと私がいちばんお休みも取れているし、残業も少ないのではと感じます。忙しいな、大変だなと思う時はありますが、自分で業務の工程を組むので自分次第なところもあり、その分お休みの自由度も高い。自分としてはいい選択をしたなと思っています。これからの目標としては、大貫さんに任せたいとクライアントに指名していただけるくらいの実力をつけること。社外からも社内からも頼られる存在になりたいですね。



だからトウカイコンを選びました！



現場に毎日通うのはちょっと…でも建設をやりたい！

土木設計部 設計Iグループ
2015 年入社
善積彩美

先輩方の手書きマニュアルに 積み重ねた会社の歴史を感じる



現在は土木設計部のIグループに所属しています。長く担当しているのが水力発電所の概略設計です。管内に事業化が有望とされている地点がいくつかあるのですが、その可能性を調査し、経済性を評価する仕事です。そう聞くとすごく難しく思われるかもしれませんが、私も入社するまではほとんど知識がなく、最初は先輩がつくる図面の修正や計算書のチェックなど簡単なことから始めました。電力土木という専門性の高い領域なので、設計の参考にする書籍も少なく、いまだに先輩方が作成した手書きのマニュアルを使うことも多いですね。積み重ねた歴史を感じます。

工学部の出身で、もともと建設業界で働きたいと思っていました。でも、ゼネコンのように毎日現場に通うのは体力的にも不向きだなと感じていて、それで希望したのが建設コンサルタントです。入社後はずっと本社勤務ですが、水力発電所は山の中にあることが多いので、現地確認のために現場に行くこともあります。地図やドローン写真から想像した地形と実際の状況は違っていたり、現場ならではの発見もたくさんありますね。

半年前に結婚しました。残業は少なめにして、オンとオフのメリハリをつけるようにしています。休日は夫と外出することが多いです。同僚男性には育児休暇をとっている方もいるし、性別にかかわらず働きやすい職場だと思います。私もライフステージの変化に合わせた働き方を見つけて長く働き続けるつもりです。今はせっかく水力発電のチームにいるので、自分が関わった発電所が稼働する姿を見たいですね。何年後になるのかな。いいところまではいっているので期待しています。



社員の母校・学部学科一覧

<大学>

東京大学 / 大学院、東北大学 / 大学院、東北学院大学、東北工業大学 / 大学院、東京都立大学、山形大学 / 大学院、岩手大学、室蘭工業大学、秋田大学、信州大学、神奈川工科大学、神奈川大学、中央大学、帝京科学大学、日本大学 / 大学院、八戸工業大学、豊橋技術科学大学 / 大学院 他

<高专>

仙台高等専門学校、秋田工業高等専門学校、福島工業高等専門学校

<学科>

工学部（化学・バイオ工学科、水環境・土木工学科、機械工学科、建築・社会環境工学科、建築・土木工学コース）

工学系研究科（社会基盤学科）、理工学部（システムデザイン工学科、都市環境学科、交通システム工学科）

理学部（理学科、地圏環境科学科・地学専攻）、理工学研究科（土木工学専攻、交通システム工学専攻）

建築学部（建築学科、建築学系）、建築学研究科（建築学専攻）建築・都市マネジメント学系、都市システム工学科

生命環境学部（アニマルサイエンス学科）、システムデザイン学科（電気電子工学科）、創造システム工学科（土木・建築系） 他

福利厚生は会社のインフラ だからしっかりしたものを

社会の土台がインフラであるように、福利厚生はまさに会社のインフラです。

だからしっかりと整備しなくてはなりません。

東北開発コンサルタントでは、目に見える制度だけでなく、

すべての社員が長く元気に活躍できるようにさまざまな働き方支援をおこなっています。

福利厚生

- | | | |
|----------|----------------|--|
| ・社会保険完備 | ・積立有給休暇制度 | ・資格取得支援制度 |
| ・団体生命保険 | ・各種慶弔制度 | ・食事補助制度 |
| ・退職金制度 | ・借上社宅貸与制度 | （月 3,500 円自己負担で 7,000 円利用可能な
福利厚生サービスを導入） |
| ・産休・育休制度 | ・被服貸与制度 | |
| ・介護休暇 | ・社内表彰制度（報奨金あり） | |

働き方支援

- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| ・完全週休2日 | ・5日以上の連続休暇取得可能 |
| ・転動なし（業務都合やスキルアップのため他事務所での一時的な勤務あり） | ・交通費全額支給 |
| ・年間休日122日（年平均有給取得 12.5 日） | ・定年後の再雇用による長期キャリア形成 |
| ・第2、4水曜日はノー残業デー（月平均残業 22.8 時間） | |
| ・テレワーク、時差出勤、時間休暇 | |

建設コンサルタント、
それは土木系・建築系学生のもう1つの選択。
東北開発コンサルタントでお会いしましょう。

会社名	株式会社東北開発コンサルタント
設立年	1968年 11月 30日
住所	仙台市青葉区大町二丁目15番33号大町電力ビル新館
TEL	022-225-5661
FAX	022-225-5694
採用アドレス	tkc-saiyo@mail.tkca.co.jp
コーポレートサイト URL	https://www.tkca.co.jp/



◀ コーポレート
サイトへ



より、そう、ちから。
東北電力グループ